

2019年7月3日

各 位

会 社 名 株式会社アクトコール
 代 表 者 名 代表取締役社長 福地 泰
 (コード番号：6064 東証マザーズ)
 問い合わせ先 執行役員 CFO 高橋砂衣
 電 話 番 号 03 - 5312 - 2303

2019年11月期第2四半期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年1月18日に公表いたしました、2019年11月期第2四半期累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年11月期第2四半期連結業績予想の修正

(2018年12月1日～2019年5月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,950	百万円 210	百万円 160	百万円 100	円 銭 13.02
今回修正予想 (B)	2,205	410	359	284	36.40
増減額 (B - A)	255	200	199	184	
増減率 (%)	13.1%	95.3%	124.8%	184.8%	
(参考) 前期連結実績 (2018年11月期第2四半期)	2,111	10	△38	△364	△47.48

2. 連結業績予想の修正理由

1) 売上高

2019年11月期上期におきましては、住生活関連総合アウトソーシング事業、決済ソリューション事業、不動産総合ソリューション事業の3事業ともに、売上高は当初予想を上回り、堅調に推移いたしました。

中でも住生活関連総合アウトソーシング事業における、緊急駆けつけサービス累計会員数は当初予想を上回り、また、コールセンターサービスの受託件数が拡大したことにより、2019年11月期第

2 四半期の連結売上高は、当初予想を大きく上回る見通しとなりました。

2) 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益

住生活関連総合アウトソーシング事業において、2019年11月期上期は、天候不順等がなく、コールセンターへの入電数が比較的安定していたことから、会員制サービスおよびコールセンターサービスの原価が当初予想を下回ることとなりました。

また、前期、多角化経営方針の見直しを行い、事業整理を実施したことにより、2019年11月期上期においては、要員補充および経費の増加は想定を下回り、効率的な事業運営を行うことができました。前述の理由により販売費および一般管理費が当初予想を下回ったことから、住生活関連総合アウトソーシング事業における2019年11月期第2四半期の営業利益は、当初予想を大きく上回る見通しとなりました。

決済ソリューション事業および不動産総合ソリューション事業につきましても、売上高が堅調に推移したことから、2019年11月期第2四半期の営業利益は、当初予想を大きく上回る見通しとなりました。

なお、連結営業利益の増加により、連結経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、同様に当初予想を大きく上回る見通しとなりました。

3. 今後の見通し

通期連結業績予想につきましては、現在精査中であり、2019年7月12日に予定しております、2019年11月期第2四半期決算発表までに公表を予定しております。

(参考)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益
当期連結業績予想 (2019年11月期)	4,050百万円	500百万円	430百万円	290百万円
前期連結実績 (2018年11月期)	5,997百万円	447百万円	312百万円	△102百万円

以上